

現在のウクライナ・ロシア情勢について思うこと

- 今、大きくニュースに取り上げられているのを見て、あらためて戦争というのが日本で起こることを考えると怖くなりました。北海道の北方領土ではロシア軍が侵攻しているから日本も巻き込まれるかが不安です。
- どんな理由があっても戦争はしてはいけない。戦うロシア・ウクライナ兵、その他多くの人にも愛する家族・友人・恋人がいることを忘れてはいけない。
- 長崎・広島戦争のような事が二度と起きないように、今、この時でも対策を考え、行動する(日本の)70人の義勇兵の方や政治関係の方々にとっても感謝しているとともに、自分の命を懸けてでも日本の貢献しようとする義勇兵の方々に対して、70人誰しものが家族などの家庭を持ちながらも勇敢に立ち向かう姿がとてもかっこよく、すごい決断力だなと感じました。戦争をしにかけてくる方も、そうでない方も国が違えども、命の価値はみんな同じなので誰の命も犠牲にして欲しくありません。
- 私は「戦争が始まる」と聞いたとき、現代の世の中でそんなことが本当に起こるのかと疑いました。私たちが住んでいる日本では「戦争」というのは「決してあってはならない」と伝えられてきたので、衝撃でしかなかったです。ニュースを見ていると、ロシアとウクライナの話で溢れています。ある1つの記事を見ると、第3次大戦になりそうな戦争の可能性をマスコミも大国の外交も煽ってしまっている、書かれていました。これに対し、私は「なるほど」とも思ったし、「メディアに取り上げられなければ私たちは知ることもできなかつた」とも思いました。ただ記事を読んでいるだけでは世界は何も変わらないと思います。少しでも訴えることで誰かは救われると思いました。
- 僕と同じ中学の友達でウクライナ人の子がいて、そのお父さんが戦争に行くと聞きました。すごく悲しんでいました。詳しく何が起きているか分からないけど、今すぐやめて欲しいと思います。
- 2週間前に、テストが終わって家に着いた時間に戦争が始まりました。生きているうちに戦争が起こるなんて思いもしませんでした。いつも毎日、YouTubeで見ている「さわやん」はウクライナ出身で、今回の戦争も関わっています。そして義勇兵としても戦うそうです。日本から70弱の人が参加し力を貸すそうです。生半可な覚悟では絶対にやれないし、命を捨てるようなもの。勇気を出して戦ってくれる人に感謝。
- ニュースで実際にウクライナの人や物が壊されていくのを見てとても胸が痛くなりました。過去にあった戦争で亡くなった人や大切な人が亡くなった人たちの計り知れない悲しみは何だったのだろうと悔しく思います。ロシア人として戦争に行かされる人も自分の意志で他国を壊しに行く人はほとんどいないはずですが。国の代表者によって国民が苦しむのは間違っています。一刻も早く戦争をやめて、和解できる関係になって欲しいと思います。
- 私は戦争を行うことに対して反対です。過去に戦争でたくさんの方が亡くなっていることを小学生の頃から聞かされてきました。当時、小学生の私でも戦争への恐ろしさを感じました。今回、すでに2つの国で死者が出ています。ニュースを見るたびにとても心が痛みます。戦争なんて起きるわけがないと生まれてから今現在までの16年間、戦争は過去の話として考えていました。しかし、身近なものに変わりつつあります。とても怖いです。アメリカや日本が助けられない中、世界最強ハッカー「アノニマス」がロシアのサーバーをダウンすると宣言していて頑張りたいと思いました。
- なぜ戦争をするのか？ロシアとウクライナの国民は戦争は望んでいないと思います。プーチン大統領

のわがままだと思っています。(元ロシアの)ウクライナは独立した国で、いきなりロシアの大統領が土地返せと言ひ。喧嘩を吹っかけて、プーチン大統領自身は安全な状態って変な話だと思いました。インターネットで徴兵されていく家族の動画などもあがっていて悲しいなと思いました。第2次世界大戦が終わって、もうないだろうなと思っていましたが…第3次世界大戦が始まるのではないかと少し不安です。これは人ごとではないと思います。最初は何か言い合っているわと思っていましたが、テレビなど現地を知って、これは人ごとではないと思いました。

- いかなる理由があっても戦争をしていい理由にはならないと思う。ロシアが核の存在をちらつかせているというニュースを見たが、過去の日本を見てまだわからないのかと思った。停戦交渉の内容をニュースで見たとこ、ウクライナ側が提示している条件に比べ、ロシア側の提示している条件が厳しすぎると思った。また、多くの国々がロシアを批判したり、国際柔道連盟がプーチン大統領の名誉会長職を停止したりするなど、戦争に対する批判が多い中、意見を通し続け、侵攻を止めないのはなぜなのかが疑問である。
- 私たちが何気なく過ごしている今、ウクライナでは戦争が起きていることに私は実感がありませんでした。でもニュースなどで人が死亡した人、日本に住んでいるウクライナ人が声をあげていることを見て、やっと戦争が起きているのだと思いました。そう考えると自分たちが学校や家で過ごしている時、ウクライナの現地ではたくさんの方が亡くなっていると考えるととても恐ろしいです。
- 最初は、結局何も起こらず終わるであろうと思っていたけれど、今は自分が生きている時代にまさか戦争が起こると思ってなくて、ニュースなどで見る出来事は、とても悲惨なことになっているからとても戦争の恐ろしさを知ったし、まさか白黒ではなく色で見える戦争を見るときは思っていなかった。
- 自分が生きているときに戦争がおきて人が死んでいくことが起きるなんて思ってもいなかったのびっくりです。戦争で解決することなんて一つもないと思います。ロシアの人たちも望んではいないと思う。戦争では悲しみしか生まれないので今すぐにでも終戦して欲しいです。
- 昔の人々や経験から「戦争」は二度としてはいけないと学んだのに、なぜ同じことを繰り返してしまうのか不思議でたまりません。確かにロシアも大変で焦ってこんな事をしているのかもしれませんが、もっと他に良い解決策があると思います。
- どんな理由があってもやっぱり戦争だけはしたらいけないと思う。
- ロシアがウクライナ侵攻について「侵攻をしているつもりはない」と繰り返していたとニュースで聞いたことがある。少なくとも私個人から見れば、あの行為は「侵攻」であり、言ってしまうと「戦争」の始まりなのかとも思ってしまう。ウクライナには国民総動員令が出され、一般人が武器を持っている状況にあり、いつ攻撃されるか分からないという恐怖から夜中に寝られないという方もいると聞いて、とても心が苦しくなった。平和に生活していたら一般市民が武器を持つことは異常で、まずそれ以前に戦争をするということが異常であるので、今すぐにこの侵攻を止めて、撤退して欲しい。「戦争、武器を使用した戦い、制圧をしてはいけない」ということは、戦争を体験していない私たちでも理解できるし、当たり前のことだと思っていたのに、子どもたちの見本となるべき大人が、ロシアの国の代表がそのようなことをしてはいけないと思っている。だから1秒でも早くこの争いを終わらせて欲しい。
- ニュースで見たが2000人以上の死者が出ておりかなり危ないと思った。プーチンはやめる気もなさそうだし、何とも言えないけれど、やっぱりやめた方がいいのかとは感じた。
- 今、私たちが学校に来て勉強したり友達と話したり、食事をしたり、寝ている間にも戦争が行われ、お

びえて生活している人々がいると思うととても心が痛む。死と隣り合わせで国のために戦っている人々がいる。そんな中、大変な状況と分かっているながらも何も出来ない自分に嫌気がさす。戦争は自分とは程遠い存在であり、今後も起こることはないだろうと思っていた。

- 私は、ロシアのウクライナ侵攻に反対します。戦争をすることは誰にとっても辛く悲しいことだと思います。ウクライナの情勢を知っていくうちに、人々の悲痛な訴えを目の当たりにしました。ウクライナの人々は必死に今この瞬間を生きていると思うと心が痛みます。しかし、ロシアの全てが悪い存在ではないのだと感じるニュースもありました。戦争を体感し、恐怖を感じながらも、建物を破壊し、市民を狙うロシア人もいるということです。戦争に反対する声をあげることができないまま戦争せざるを得ない人もいます。このようなことを知って、やはり戦争はしてはならないと思いました。戦争は人も心も殺すことだと感じました。
- 私はロシアのウクライナ侵攻に反対する。修学旅行での平和講話やたくさんの平和学習を通して修学旅行の恐ろしさを肌で感じたことにより、やるべきではないと強く思った。今、ウクライナの義勇兵に70人の日本人が志願したが、正義を尊重する気持ちは、時に他者を傷つける刃ともなりうるため、一緒に戦うことが正確だとは限らないと思う。戦争には反対だが、私はロシア側にもウクライナ側にもつかない。なぜなら戦争は片方だけでは起きない考えるからだ。
- 私はウクライナとロシアの戦争を最近のニュースでよく目にします。その中で自分の小さなウクライナの子供たちが「今夜何が起きるか分からない」と言って泣いているのを目にして自分もすごく涙が出そうになり心が苦しくなりました。ロシアのウクライナ侵攻で民間人犠牲者も多く増え、その中には小さな子供たちも含まれているということを知って、もし日本もこんな風になったらすごく怖い思いをするのだろうと考え、ものすごく恐怖心を感じました。もし、自分が今、ウクライナに住んでいて自分の親も戦いに行かなくてはならないとなってしまうと考えるとすごく胸が苦しくなります。日本がもし、ロシアからの侵攻を受けてしまうかもしれないと考えるとすごく恐いです。世界は「平和」だと思っていたけれど、今はその「平和」が欠けてしまっている状態ということを感じ、平和がもっと必要だと考えました。また、この今起こっていることは忘れてはいけないことだと思います。
- 自分が生きている間に戦争が起きるなんて思っていなかったから怖い。教科書や過去の話として学んできて、学校に講演に来てくださる人のお話をたくさん聞いて、辛かったことがよく分かるから、今それが起こっている事実を受け入れられない。日本がいつ巻き込まれるかも分からないし、争って人が死んでいくのに何のメリットがあるか分からない。戦争、絶対しない方が良いと思う。たった一人の感情に左右されて、多くの人が犠牲になっていくのが辛すぎる。そんな人が国の権力者ではダメだと思う。誰も望んでいないのに。
- どんな理由で戦争が始まったのかよく分からないが、ニュースを見ているとロシアがウクライナに侵攻しているのを感じる。ウクライナ人は近隣の国へ避難している人もたくさんいて、戦争の厳しさが分かる。ロシア人の中にも戦争したくない人もいるけど、大統領の命令だから行っている人もいる。ウクライナには他の国からたくさんの支援があるが、ロシアは孤立している。ロシアは最近、市民も犠牲にしている何がしたいのか分からない。日本の領土もいつ侵攻されるか分からないから怖い。
- 最初は住宅に関係ないところを壊していたのに、だんだん住宅も壊し始めてきているので住んでいる人は本当に怖い思い、悲しい思いをしていると思いました。戦争を経験したおばあちゃんに話を聞いて、これからとか今でもそれが起きる、起こっていると思うとすごく怖いと思います。せっかく平和に

なったのに何で苦しい状況とかを作ってってしまうのだらうと思っています。

- 戦争は何も生まれないし、ただ命が奪われていくだけということは分かっているはずなのに、なんで戦争を起すかわからない。自分が生きている時代に戦争が起こるなんて思っていなかった。この戦争は日本を他人事で終わらせる問題ではないと思うし、いつ日本が侵攻されるか分からないと思うし、明日は我が身なので、この戦争についての知識や情報を多く得て備えた方がいいと思った。今、ロシアは何をしてくるか分からないので危機感を持って過ごしていきたい。
- まず率直な感想として、今この現代において戦いが起こっていること、その戦いがメディアなどを通してカラーで見ることができていることに驚いています。今もなお、同じこの世界で戦いが起きていることが信じられないし、平和について考え直させられることだとも思います。僕は個人的には「戦争」という考え方はもう古い考えで、現代には平和を尊重し、お互いリスペクトを持った「話し合い」をすることが一番良いのではないかと考えています。僕の少ない知識の範囲ではありますが、今回のこの戦いは、1人の偉い人の為に全く関係の無い人たちが想像を絶するほどの辛さや悲しみに晒されているように感じてしまいます。なので、何のメリットを得られない「戦争」は今すぐにやめるべきだと思います！
- 自分は戦争に反対だ。最近ウクライナとロシアで起きていることをニュースで見る。すべてが突撃的な事ばかりだが、その中で一つ印象に残っているニュースがあった。内容はウクライナに住む若い男子がロシア軍からの爆撃を見て泣き叫んでいるというものだった。自分は悲しく思った。罪のない一般人が巻き込まれていることに。またウクライナに侵攻する一部のロシア軍が侵攻をやめる騒動があった。みんな戦争を望んでいるわけではない。これ以上被害が増える前に戦争をやめて欲しい。
- 戦争は起こしてはいけないことだと思います。多くの人が死ぬのでしてもいいことはありません。ロシア軍に侵攻は今すぐやめてもらいたいです。
- 私はこのニュースを聞いて、とても悲しい気持ちになりました。ロシアの主権者のせいでロシアの人々は世界中から批判を受け、ウクライナの人々は今までの生活、そして大切な家族まで失ってしまっていると知り、こんなことがあっていいのかと思いました。国民は戦ったこともないのに戦わされ、もしそれがウクライナじゃなく日本だったらと思うとゾッとします。昔ではありえなかったかもしれないけど今なら日本もそうなる可能性があります。今ある生活に感謝したいと思いました。
- それぞれの国の偉い人たちの対立のせいで戦争になっていることが悲しいです。関係のない国民にまで被害があると思うと本当に許せません。このまま戦争が続くことも拡大してしまうことも嫌です。
- 私は今戦争が起きているということになかなか実感がなかったのですが、Tiktok やインスタグラムなどのSNSで流れてくる動画を見て、本当に大変なことが起きているなと思いました。まさか自分が生きている時代に遠く離れた国で戦争が起こるとは思ってなかったのでビックリしていると同時に怖いなとも思いました。SNSでウクライナの高齢の方が孫を守るために数少ない荷物を持って自ら戦うと申し出てきたという記事を見ました。私たちみたいな年齢だとニュース番組を見ないと思うけど、SNSを通して今の状況を知れるのはすごく良い事だと思うし、少しでも伝えたいと思って投稿している事に感謝を忘れてはいけないなとも思いました。
- 戦争をすることは反対。昔、戦争をしてひどい目にあって二度としないようにしようと言っていたのに、またしようとするなんておかしいと思った。大半の人はその時の状況なんて知らないし、私も少ししか知らないけれど修学旅行の時に話を聞いて、より起こしてはいけないと思った。どっち派とかでは

ないけれど、避難して苦しんで困っている人たちはどうにかして助けてあげたり、力になつたりしたいと思った。

- 私は日本が核を持つこと、憲法を改正することについて反対意見です。また、日本以外の海外に軍を持っていたり、核や武器を持ったりすることにも反対です。国際連合が緊急会合をしているニュースを見た時に、疑問に思うことがありました。武力を持つ国についてです。テレビではよく、世界平和や友好関係についてたくさん取り上げられているけれど、なぜ武器を持っておく必要があるのでしょうか。ウクライナとロシアに関わらず、所持しているということは、お互いの国同士が信頼できていないということになるのではないかと私は思いました。だからまずは、ロシアを批判したり自国の憲法についてよりも、国連で話し合ってお互いの国、世界の国々を信頼、尊重するべきだと思いました。ロシアが恐れている、勢力拡大とか、そういう他の国に敵対心がある時点で国連があるべき理由がないと思いました。
- ロシアの今回のウクライナへの攻撃、侵攻はさすがにやり過ぎ。プーチン大統領の独裁だと感じる。ウクライナ人が今の情勢に対して反対しているのは当然だし、ロシア国内でも反対者が日に日に増加している中で、侵攻が続いている。アメリカのバイデン大統領もロシアに対して厳しい発言、また各国からの経済制裁も行われている。第1次、第2次世界大戦でもそうだったように、当時の人々は今行われている戦争が第1次、第2次だとは思っていなかったという。今回の侵攻も何十年後かの未来で、この侵攻がさらに激化して第3次と語られるかもしれないことに恐怖心を覚える。
- ここ最近でまた悪化を始めたウクライナとロシアの問題で多くの犠牲者が出ている戦争のようなものになってしまっていて世界の問題にまで大きくなっていて戦争というものがまた始まってしまうのではないかと少し恐怖を感じた。まだ、この問題について全て知っているわけではないけど、事態がより大きくなる前に戦うことをやめて欲しいと思うし、これ以上の犠牲者を出して欲しくないと思う。
- ロシアが軍を出す前は、自分はそんなに情勢について気にしていませんでした。ですが、実際に戦争が起り、朝のニュース番組やネットでは、何人もの方の命が失われ、多くの建物が壊されている様子が流れていました。自分にとって戦争は過去に起きたものごとだ、という認識がありましたが、今、現在進行形で戦争が行われているのだと考えると、とても恐ろしい気持ちです。今はネットなどが普及しているので、その様子がリアルタイムで見られます。昔であれば考えられないと思います。そんなに簡単なことではないかもしれないですが、2つの国が武器を取るのではなく、手を取り合うことを願っています。
- ロシアとウクライナについてのニュースや記事を見るようになって、家族がウクライナにいる日本に滞在している人など、心が痛い情報が多い。この戦争で誰が幸せになれるのだろうと考えてみたけれど、戦争を始めたロシアでさえ被害が多い。ロシアでも戦争を望まない人の方が多いし、両国の人たちが望まないこの戦争は何の意味もなく、周りの国や日本やアメリカのようなロシアと交流のある国でさえも悲しみ、不安を感じていると思う。戦争は失うものが多すぎるし、命を犠牲にしてまですることではないと思った。
- 現在のプーチン大統領はまるでナチスドイツのヒトラーのようだ。この時代に武力で制圧しようとしたり、ウクライナ侵攻に反対する国民を拘束したりするなど、国民の不信感が募ることになるのに止めようとしなことが信じられない。この事態は長く大統領の地位についていたことで、時代錯誤の独裁者になってしまったことが原因だと私は思う。

日本（あなた自身）にできること

- 自分は何もできないから、今何が起こっているかを知ることが大切だと思います。
- 戦争反対の意思を持ち、発信すること。
- 70 人の義勇兵の方々みたいな勇敢な行動は出来なくても、この問題について関心を持ち、自分の考えを持ち戦争反対ということを訴え続ける。
- 被害を受けている人々を日本は少しでも救えるのではないかと思います。それは実際に助けに行くだけではなく、私たちひとり一人がこのように訴えることでその声が伝わり、何かが変わるかも知れません。それに被害を受けている人々にこの声が伝われば、その人の心が少しは楽になるのではないかと思います。
- 戦争をやめて欲しいと願うこと。
- 少しでも出せるのはウクライナに寄附金を出そうと思います。自分は義勇兵として戦えないので、少しでも力になれるように手を尽くしたい。少しでも早く休戦することとウクライナの平和に対してお祈りします。
- まずは報道をしっかりと聞いて現状を理解すること。ひとり一人からほんの少しずつでもお金の寄付があれば大きな力になると思う。学校で生徒から寄付する。
- SNS に戦争反対を載せる。
- 自分でできることは SNS などに励ましなどの言葉をあげる。募金をしたりする。
- ニュースでウクライナの国民が恐怖で何日も寝られていないことや、家族と連絡がとれていないことを知って、少しでも早く戦争をやめなければならないと思ったため、戦争反対を発信したり、ニュースを普段以上にチェックして状況をしっかりと把握しようと思った。
- 寄付を少しでもいいからする。今は SNS の時代だから。嘘の情報がたくさん出ているかもしれないので、それに惑わされずに、公式から情報や複数の情報を見比べて自分自身も適切な情報を得る。何が起きているのかをインターネットなどで声をあげ、1 人でも多くの人に現状を知ってもらおう。
- 正直、今の僕たちの年齢でウクライナを直接助けたり、世界を動かすことは難しいと思っているけれど、目をそらすことは必ず出来ないし、今、日本はウクライナ人の難民を受け入れようとしているけれど、僕たちでも温かく受け入れることができると思った。
- 戦うことはできないのでロシアのやっている事に断固反対であるという思いを発信すること。
- 私は少額の寄付や SNS での発信しかできないけれど、戦争は誰もがしてはいけない事と分かっているはずだし、1 人の小さな発信でも、大勢の人々が行えば、大きな発信になるので、些細な事でも寄付や SNS で拡散などしたいと思いました。
- 今できることは少ない金額ではあるけれど募金することぐらいだと思う。
- 金銭面での支援。食料などの輸出。
- 寄付。
- ウクライナに支援金を寄付することや、ウクライナの情勢をよく知り理解することが大切だと思います。
- 今、SNS などで戦争の状況をあげている人がいるが、大きな行動をすることは難しいけど、平和を望む思いを持つことが大切だと思う。

- ウクライナのたくさんの人々に支援ができるように、高蔵高校が募金活動を行ったりしたりすることもいいのではないかと考えました。避難したウクライナのたくさんの人々に、水や食料・衣類など生活に必要なものを支援したりできたらいいなと考えました。自分の家にもホームステイできるようにしたり、平和に貢献できる行動をしたいです。
- 今、SNS を見ていると、アカウント名の後ろに「NO WAR」と書かれているのをよく見る。世界中の人たちが戦争に反対して活動を行っている。小さなことでもたくさんの人がやれば目について伝わるかもしれない。桜丘高校のように学校から戦争反対の声をあげることもできると思う。
- 思っていることを文字や声にして伝える。今の日本に生活以外の面で影響することはあまり無いと思うけど、思っていることを伝えて伝われば少しは違う方向に変わるかも知れない。
- 自分は戦争は反対なのでとにかく平和を守らないといけないと思います。反対している人、体を張って止めようとしている人がいるので、日本もどこの国も国民の声を聞いたり、国民を守らないといけないと思います。冷静になって考えるべきだと思います。自分たちができることは、こうやって文章などで反対していることを伝えていくことができると思うので、こういう時に SNS で広げていけばいいと思います。
- 戦争について知ること。僕たち高校生には人を動かすほど影響力はないし、何かを発信できるわけでもないで、まずひとり一人が今置かれている状況を理解することが大事だと思った。
- 今から僕がウクライナ・ロシアまで行って戦争を止めに入る事は、不可能に近いことだと思うので、非現実的です。では国内、自分に何ができるのかを考えた時に、直接的なことは出来ないと思いましたが、SNS を通じて現状の理解をすることは誰でも出来ることなので、やる価値はあると思います。また、ひとり一人が何が出来るかを考え続けることも大切だと思いました。
- 今の状況を広める。
- 私が 1 人で何かしても正直なところ何も変わらないと思います。だからやらないのではなく、だからこそみんなで協力して少しでも変えられたらなと思います。例えば、桜丘学園のようにホームページで抗議したり、インターネットで私たちの意見を少しでも多くの人に聞いてもらいたいと思いました。
- 避難してきた人々を支援するための募金に参加する。
- まず今起きている戦争について知ることが大切だと思います。
- 物資寄付をすることや募金すること。ニュースにずっと関心を持ち続けること。
- 海外の人とたくさん交流する。
- 多くのインフルエンサーが SNS を通じてこの侵攻に対して発言したり、多額の寄付をしている。自分はその発信力や経済力がないから同じことはできないけど、ニュースに対して関心を持つこともできるし、インターネットで調べることもできる。一番してはいけないことは自分には関係ないことだと思うことだと思う。
- 自分たちがこの問題に関わったからといって何かが変わる訳ではないけれど、この問題の重要性を多くの人に知ってもらうためにそれぞれが発信していかなければいけないと思う。
- 自分ができることは、テレビやネットでもたくさんの人がやっているように募金活動に協力したり、ネットやいろんな場で「戦争を止めよう」という意見を出すことだと思います。僕がやっているゲームでは、広場という場所があり、そこでは自分のキャラクターに自分でセリフを書けます。今、その広場で世界のセリフを見ると「NO WAR」というメッセージで溢れています。ゲームの中にまで影響が出

るというのは、すごいことだと思いました。

○ロシアとウクライナの状況をちゃんと知ること。

○ウクライナの避難民を受け入れる。ウクライナに寄付する。